

としまくとくべつしえんきょういくすいしんけいかく 豊島区特別支援教育推進計画(わかりやすい版)



1 小学校・中学校での取組

小学校・中学校に通うすべての子供たちが、障害のあり、なしに関わらず、交流したり共同で学んだりする取組を充実し、相互理解を深めていきます。

交流および共同学習の推進

- 特別支援学級の子供と通常学級の子供が、相互の触れあいを通じて豊かな人間性を育むとともに、授業での学習を通して教科等のねらいを達成できるよう、学校全体の教育活動を活性化します。



さまざまな交流の推進

- 特別支援学校に通う子供と小学校・中学校に通う子供との交流を進めます。
- オンラインでの交流を広げ、一緒に学んだりすることも進めていきます。



2 特別支援学級・特別支援教室での取組

特別支援学級・特別支援教室に通う子供たちが、将来、社会とつながり、生活できるよう、学校での学習内容や必要な支援などを充実していきます。

希望する進路の実現

- 将来、高校・大学などで学んだり、会社で働いたりするために必要な力を身に付ける学習を充実します。



困難さを抱えた子供への支援

- 友達との会話など、苦手だと感じていることができるようになる学習を充実します。
- 自分のクラスで友達と一緒に学べるように支援していきます。



3 社会の変化に対応した取組

障害のある子供たちが、デジタルを活用して学んだり、スポーツや芸術に取り組んだりすることで、社会に参加できるようにします。

デジタルを活用した学習の充実

- デジタル教科書やデジタル教材を使い、分かりやすく学ぶことができるようにします。
- 一人1台タブレットパソコンを活用して、教材を工夫したり、複数の課題を作成したりして、個に応じた学習を進めていきます。



スポーツ・芸術教育などの推進

- ボッチャなどの障害者スポーツを通して体と心を育て、多くの人と交流できるようにしていきます。
- 音楽鑑賞教室など、本物に触れる機会をつくり、豊かな感性を育みます。



4 特別支援教育を進める体制づくり

先生一人一人がユニバーサルデザインの視点で教える力を高めて、学校に関わる全ての人たちで、障害のある子供たちを支援していきます。

先生の教える力の向上

- 小学校や中学校の先生が、特別支援学級や特別支援教室で、障害のある子供に教える力を高めます。
- 全ての先生が、障害のあるなしに関わらず、子供たちに分かりやすい授業を行えるよう、教える力を高めます。



医療的ケアが必要な子供への支援

- 学校の先生と看護師などが協力し、子供が安心して学校で学習できるようにします。



子供たち一人一人の能力を最大限に伸ばし、多様な個性を持つ

子供たちが、互いに認め、尊重し合いながら学ぶ教育を推進します。

豊島区特別支援教育推進計画(令和4~6年度) 令和4年3月発行

編集・発行 豊島区教育委員会 事務局 教育部 指導課

豊島区南池袋2-45-1 電話 03-3981-1146

